

都市計画道路 大阪河内長野線事業(南工区)

都市計画道路は、都市計画法に定められた都市施設の一つであり、交通機能をはじめ、防災空間やライフラインの収容空間としての機能を有し、まちの骨格となる道路です。

大阪河内長野線は、本市の東部地域を南北に貫き、大阪市及び大阪狭山市に接続する重要な幹線道路の一つです。現在、国道309号や府道大阪狭山線では慢性的な渋滞が発生していることから、本路線の整備により、交通環境の改善を図ります。

● 事業による効果

現事業区間の整備を含めた、道路ネットワーク機能の強化



- ・ 国道309号や府道大阪狭山線の慢性的な渋滞の緩和
- ・ 周辺的生活道路における通過車両が減少。
(安全な歩行空間を確保・周辺地域の交通環境の改善)
- ・ 緊急車両の通行、災害時の避難路、延焼遮断機能の強化など防災性の向上。



まちの魅力と活力の向上
市街地の防災・減災機能の強化

● 事業概要

事業区間 東区北野田ほか
事業延長 約0.6km
道路幅員 35m

● 平成26年度の予定

早期事業化に向け、設計及び調査業務を実施します。
(道路予備設計、土地調査業務)

